

デュラス 愛の最終章 (2001)

CET AMOUR-LA

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンس

製作国 フランス

色彩 Color

時間 100分

初公開日 2002/12/14

公開情報 コムストック

【キャッチコピー】

運命の時を待ちながら、
ふたりは出会い、愛し、語らった。
そして「愛人／ラマン」がうまれた。

【解説】

「愛人／ラマン」の原作者マルグリット・デュラスの最晩年を共に過ごした38歳年下の愛人ヤン・アンドレアが、歳の差を超えて愛した彼女との16年間の日々を綴った著書を映画化。名女優ジャンヌ・モローがプライベートでも親しい友人だったデュラスを好演。監督はフランスTVドラマを中心に活躍してきた女流監督ジョゼ・ダヤン。

1975年、学生だったヤン・アンドレアは大学で自らの映画「インディア・ソング」を上映するために訪れていた作家マルグリット・デュラスと出会う。以来彼女の作品の熱烈なファンとなり、5年もの間、毎日手紙を書き続ける。そして彼が手紙を書くのをやめたある時、デュラスから“会いに来るように”と記された手紙が届く。ヤンは早速彼女の住んでいるトゥルーヴィルの家を訪ねた。その日からヤンとデュラスとの愛の生活が始まる。デュラスはヤンを一途に独占しようとした。そして、ヤンはデュラスの最後の愛人として16年を過ごすのだった。

【クレジット】

監督	ジョゼ・ダヤン	Josee Dayan	
製作	アラン・サルド	Alain Sarde	
製作総指揮	クリスティーヌ・ゴズラン	Christine Gozlan	
原作	ヤン・アンドレア	Yann Andrea	
脚本	ジョゼ・ダヤン	Josee Dayan	
	ジル・トーラン	Gilles Taurand	
撮影	カロリーヌ・シャンプティエ	Caroline Champetier	
音楽	アンジェロ・バダラメンティ	Angelo Badalamenti	
出演	ジャンヌ・モロー	Jeanne Moreau	マルグリット・デュラス
	エーメリック・ドゥマリニー	Aymeric Demarigny	ヤン・アンドレア
	クリスティーヌ・ロラート	Christiane Rorato	
	ソフィー・ミルロン	Sophie Milleron	
	ジュスティヌ・レヴィ	Justine Levy	